

DTSとのシナジーで 安心計画らしさを発揮した 新たなシステム開発が加速



安心計画株式会社

代表取締役社長 高田 政和さん

1996年株式会社データ通信システム(現株式会社DTS)入社。2013年にタイ現地法人の取締役社長に就任。その後、本社の執行役員本部長として活躍。2023年5月に安心計画の代表取締役社長に就任。

大手グループに参画することで
住宅プレゼン支援を充実させる

2023年5月、安心計画が大手システム開発企業のDTSグループへ参画した。安心計画といえば、3DCADなどを使った住宅提案システムにより、ハウスメーカーや工務店の営業活動を支える「住宅プラットフォーム」だ。主要製品「ウォークインホーム」は、3Dでのプレゼンから構造や法規チェックなどの設計業務、申請書類の作成までサポートしてくれるソフト。そのシステムを開発したDTS社のグループに加わることで、技術や開発ノウハウを持ったDTS社と、長年、同ソフトでの販売を積み上げてきた安心計画との大きなシナジーが期待されている。新社長に就任したDTS執行役員本部長でもある高田政和氏も「DTSとしては、これまで遠かったエンドユーザーのニーズを安心計画から学ぶことができます。お互いのソリューションを合わせたビジネスモデルが確立できるのは大きなメリットです」と期待を込める。

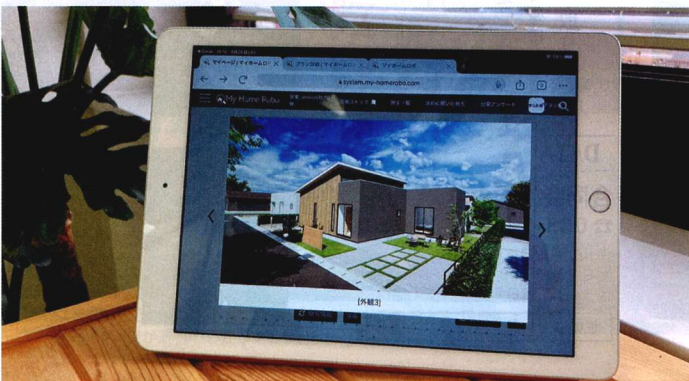
「ChatGPT」を活用した
新サービスで「提案革命」を

新たな開発も進み、特に、AIを活用したシステムが今後ポイントとなるのか。すでに、2022年にリリースされた安心計画の「マイホームロボ」は、WEBマーケティングを得意とする熊本住宅会社と共同開発した新サービス。日本で初めて実現した「ロボアドプランニング」というシステムを使い、施主へのヒアリングから提案までをわずか5分で完結できることで、営業効率が飛躍的に向上した。「ベテランと若手の営業スキルの差がなくなりますが、提案の時間を削減できるのもメリットです。それだけで、AIによっても良いアイデアが出るから、顧客の満足度も高くなります。これがスタンダードになって、どんどん営業の仕方も進化していきますね」。

AIをパートナーにして
両社にしかないサービスを

「マイホームロボ」は、今後DTSのソリューションが融合することで、バージョンアップが期待されている。このようにAIをパートナーとして、安心計画らしい「ワクワクする」「面白い」と思えるサービスを提供していく予定だ。住宅業界のみならず、その動向から眼が離せない。

過去に、大連や上海、タイなどでDTSの海外拠点を立ち上げてきた高田氏。「安心計画に入り、常にお客様目線で仕事を楽しんでやるという雰囲気の良い感じています。昔の海外拠点を立ち上げた時の記憶が蘇って嬉しくなりました。そういう意味でもDTSにとっては大きな刺激になるのではないのでしょうか」と高田氏。「DTSとのスムーズなやりとりが可能となったことで、これまで自社だけでは請け負うことができなかった案件にも対応できるようになりました」と、安心計画社員も早速シナジーを実感している。



業界からの注目度が高い「マイホームロボ」。施主のWEBアンケートを元にAIが最適なプランを抽出。全プランに搭載された高画質CGパーツ・VRデータとChatGPTが作成する提案コメントで、スピーディーな初回提案が可能



ゲーム感覚で楽しく生活動線をシミュレーションできる「My Room tour」

住空間提案システムの
活用支援

安心計画株式会社

住所 (本社)福岡県福岡市博多区博多駅前3-22-8 朝日生命博多駅前ビル 8F

TEL: 092-475-1751

設立 1988年(昭和63年)3月

安心計画

URL <https://www.anshin.co.jp/>